

平成30年度 国立大隅青少年自然の家 教育事業
鹿屋体育大学との連携による

おおすみくん家 スポーツキャンプ～バレーボール②～

- 1 趣 旨 鹿屋体育大学との連携協力協定に基づき、青少年の体力・運動能力を踏まえたトレーニング法によるスポーツ技術の向上やコミュニケーション能力の向上を図り、青少年の自立を支援する。
- 2 共 催 国立大学法人 鹿屋体育大学
- 3 期 日 平成31年1月19日（土）～20日（日）
- 4 対 象 者 中学校のバレーボール部員及び指導者
- 5 募集定員 3チーム（40人程度）
- 6 参 加 者 3チーム 36人
- 7 指 導 者 国立大学法人 鹿屋体育大学教授 濱田 幸二氏
国立大学法人 鹿屋体育大学女子バレーボール部員16人
国立大隅青少年自然の家職員（生活指導等）



8 日程と主な活動

時刻	1月19日（土）	時刻	1月20日（日）
9:00	受付（大隅青少年自然の家）	6:00	起床・準備・清掃
9:10	出合いのつどい	7:00	朝のつどい・荷物移動
9:30	練習1	7:30	朝食
12:00	昼食	8:40	退所点検
13:00	練習2	9:00	練習3
16:30	オリエンテーション	12:00	昼食
17:00	タベのつどい	13:00	練習4
18:00	夕食・入浴	15:00	別れのつどい
20:00	学習（生徒）情報交換会（指導者）	15:30	解散
22:00	就寝		

9 事業運営上の配慮

各チームの課題を聞き取り、指導内容や練習方法を計画し、課題解決に向けた練習を行った。

10 参加者の感想

- 県大会1週間前で、当初は戸惑いもあったが、収穫が多すぎて、なぜこれまで参加しなかったんだろうと後悔した。実りのある2日間だった。（指導者）
- 自分やチームのできないところを改善することができるいい機会になった。（生徒）

11 成 果

- 鹿屋体育大学との連携により、個人の力量、チームの状況に合わせた指導を受けることができた。また、今回のスポーツキャンプを通して、部員はもちろん指導者も満足できるプログラムとなった。

